

125. 社会的養護施設の求人プラットフォーム（チャボナビ）大規模改修による施設職員の確保促進

特定非営利活動法人チャイボラ 大山 遥

概要

今回いただいた助成金を利用して「社会的養護総合情報サイトチャボナビ」について以下を改修した。

- ①求人一覧ページを作る：入り込んでいる求人ページをオモテに出し一覧で見られるようにしグローバルナビゲーションにも追加。求人ページの構造もより魅力を伝えられるよう改善。
- ②施設ページの SEO 対応：動的ページになっているものを変更、また1ページを50ページ施設種別×都道府県別に増やし、SEO改善による認知向上を図った。
- ③検索機能を改善し、検索機能に早い段階で行きつき、また資格などで検索できるように変更。
- ④最も弱かったセキュリティ面を改善した。AWSの設定、リキャプチャー、ベーシック認証など
- ⑤UX改善：特に使いづらい機能に絞って改善。例：イベントキャンセル機能追加、エラー表示&リマインド機能追加、退会機能の拡充など

背景および目的

社会的養護施設には虐待や障がいなど過酷な背景の子どもが多く、本来は個別に充分に関わり適切な生活支援や自立支援が必要である。そして、それ以前に本来は親と結ばれるべき愛着関係を、身近な大人として職員と築かなくては、子ども達が自己肯定感を育み自分や他者を大切にすることができるようにならない。

しかし、20人を1人の職員が見る時間が大半を占める施設も多く存在し、個別支援の実現どころか、大人と話す時間も取れない、忙しい職員に遠慮して声をかけられない・SOSを挙げられない子どもたちが多数いる。モノの支援や自立支援など子どもへの直接支援が多くされる中でも、自立が難しい若者が多くいるのはこのような背景がある。

職員がここまで不足してしまう背景として、施設の予算は国と自治体から出されているが広報費という科目が存在しないことがある。それまでの慣習からも施設は外部へ情報を積極的に発信することがなかった。代表理事の大山が独自で158名の福祉系学生へヒアリングした結果、社会的養護に関心があっても就職情報を得ることができず、進路の選択肢から外れてしまう課題背景が判明した。

そこでチャイボラは無料で施設情報を発信できるプラットフォーム「チャボナビ」を開設し、施設が求職者向けに就職前の施設見学会を開催できるようサポートするなど職員確保・定着の活動を実施してきた。現在は多くの施設がチャボナビ登録をし、施設見学会という文化も定着してきた。

今回の申請事業においては、チャボナビのシステム改修により多数の登録施設に対して効率的・効果的に対応し、より取組みに注力できるようにしたい。チャボナビは、これまでその時々で出来る範囲の金額とその時対応できる人員でこつこつ作り上げてきた。そのため、特にシステム管理が最低限の仕様であるだけでなく、つぎは

ぎの粗大な作りとなっており、全国展開するには非効率的で瑕疵が多いシステムとなっており、セキュリティ面、SEO面でも心もとなかった。

方法

助成金で取り組む活動として、2023、2024年にかけてプラットフォーム「チャボナビ」の大規模なリニューアルを実施する予定だったが、決定した資金が再構築改修には不足したため最低限の部分を改修することとした。

それまでチャボナビの保守運用を依頼していたシステム開発業者への依頼に加え、SEOや採用サイトに強い専門家に参画いただき、改修すべきポイントを絞って実施した。

結果および考察

5つの対応について、以下の通り実施し結果を出すことができた。

■求人一覧ページ作成：入り込んでいる求人ページをオモテに出し一覧で見られるようにしトップやグローバルナビゲーションにもリンクを追加。求人ページの構造もより魅力を伝えられるよう改善。以下、結果。

- ・月間120応募にも到達
- ・求人ページのPVが1年間で約3倍に増加（11125→32256）
- ・「児童養護施設 求人」検索時の掲載順位が大幅に向上、Google検索1ページ目にランクイン（13位→6位）

■施設ページのSEO対応：動的ページになっているものを変更、また1ページを50ページ施設種別×都道府県別に増やし、SEO改善による認知向上を図った。以下、結果。

- ・検索順位が向上しGoogle1ページ目への表示が増え、表示回数が19%増加
- ・順位：11位→9位 PV：39287→48246

■検索機能の改善：検索機能を改善し、検索機能に早い段階で行きつき、また資格などで検索できるように変更。

- ・平均滞在時間が1.26倍に改善（157秒→198秒）

■セキュリティ面の改善：以下の対応を行い、個人情報収集して運営するシステムとして必要な対応を行うことができた。

- ・AWSバックアップ(スナップショット) 初期設定
- ・AWSのアカウントセキュリティ設定
- ・AWSのWAF設定
- ・求職者側のログイン回数制限(例:5回ログイン失敗したら1分再ログインできない)
- ・チャイボラ側のベーシック認証

■UX改善：非効率な機能や不要な機能を詳細に洗い出し、重要度が高いものから行った。

(完)